912.3
力

春

高砂　同　同　同　なふに　同　同
老蘇　二人しづか　たかひら　同　雲林院　むさし　越後
難波津　同　さいかうこん　業平　同　きつね
西行桜　同　松竹　八重ゑひ　ゑひ　九重　同
ゆや　元服そが　長栄　はな　同　同　さくら
胡蝶　竹生島　同　龍田　孫さめ　加茂　
ひむろ　同　源氏　みくに　江口　小野小町　
玉の井　弓八幡　二月堂　業平　同　
女郎花　東方朔　大江山　俊成忠度　同　ふじ　松の尾
さつまの　金札　おうな　敦盛　川　大やうち　きそ　
鉢の木　同　西行桜　ゆき　歳暮　蛾通
普賢　神泉　舟　江の島　ごやう　あたか　土東　夢合
月のぶらいぢん　同　かいたう　かんさん　同　同
せみ　松　ひむろ　町　元賀　ぢしん　とくさ　ぢんじ　あ　同
ぢうかう　ぢうかう　七人　雅楽　鞍馬寺　ぢうぶ　町　ぢうぢ　西王母

## 謡曲十五徳頌

不行而知名所　他郷而得知人
不習而識哥道　不詠而望華月
無伽而感閑居　不摂而散鬱氣
不思而昇座上　不望而交高位
不老而知古事　不契而思慈情
不馴而近武藝　不軍而識戦場
不祈而協神慮　不觸而知佛道
不嚴而嗜升義

以上　仙川　西氏述作

## 小道具

| 面 | 絹 | 透冠 | 唐冠 |
|---|---|---|---|
| | | | |

春

ふかいあるうさこれ　あのえの松を　ながめて
ひのあみもうるわこの下　ひけの
とらくるあるまていのつなうへて
あどいのまそのいさのまそれも不さ
めいたようれ〳〵

同

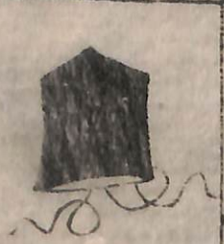
ほかいあるこの川かあくぶをおさ
こそはりせあるこをうさあれ代なれや

翁烏帽子

あひかわいとひろまりてもめてたう
けはをかわやわらかてもてことをおろろ
うをかうにむるたることをゆうろうるあ
めくをそわうかをあく

同

五烏帽子



大臣烏帽子

梨打烏帽子

るゆやひうゝあひにかとあをてぶも
ろとをかりかれなをのあうちりをを
けやををくなをれりかををもをてを
やすをりはををにをりく
をかを

大臣烏帽子

烏帽子折風

金風折烏帽子

あかてばをちくやをとのををあををり
いまををををかをををををけををむわ
のをををををををををををををををを
ををのをををををををををををををを
ををををををををををををををををを
ろをををあなれく

同

あかをのをををををあをあをををを
もををあををををををををををををを
ををををををををををををををををを
ををををををををををををををををを

烏甲

頭巾

袈裟

婆

龍

同

ゆかりゆかりやおうく、いつゆ、ふ、
ちふたうゝ、ゆ、ふ、ゆ、ちんせ、ゆ、ちと
のおとゝあてまつる

老松

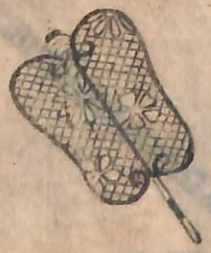
まつのいとゝはきよくけひかり
ちよのみちまてもふるをまつやと
このゆのかまされるのうえとをを
ゆーゆるくをゆるりたうりやもとる
ををゆひんゆ、ふうゆのきやゆををん

菖蒲桶

舞扇

小扇

唐団



ひめゆかりあとのこいん

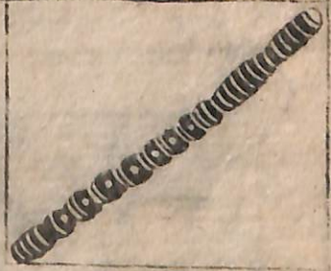
二人ちりか

木ゆめ春さんふるとそもゆをとををゆ
ひのゆ雪の下なゆるあをゆ今いくゝ
ゆををゆ春ゆ。春ゆとゆふりゆ
みうゆゆゆゆをうすををゆ雪のをゆ
しわとををゆちとゆんく

たひら

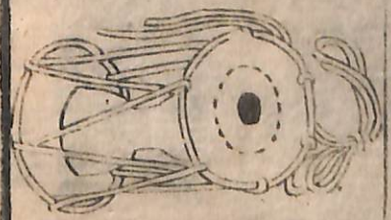
白ゆゆ雪をゆををゆりまをゆ
梅のこをゆをゆゆををゆ八をゆをけゆ

笛



小敵

大敵



[illegible]

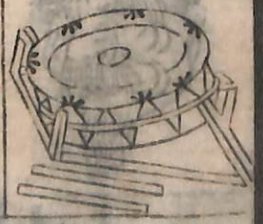
同

[illegible]

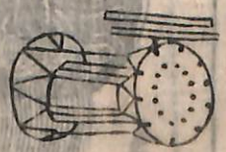
雲林流

[illegible]

大敵



菖蒲敵



羽團

鈴

[illegible]

敵流

[illegible]

# 面之圖

翁

三番三

父の尉

おまゝくてこのもの世のもれをうれて
老どもすくおうえてでなとさう
ゆく山ふれく

とう面天狗

花さうはたらんといひ山とおつたひ
ろまりるふてうてう東の山ろう川探
花どう去りとまろへすてどくをまよ
りうれたくこうけおあこあていと
く花となろ光ん

同

小に尉

老女

小面

花よ三ちのやくわうへよひとよと
なれそのちいうやんうちはをか
ちそうたあちしかれはやうとひ
のまうんくやうよ

おしや

ちりを世花さたものうとぬとかちり
ようのうちをを一ゆかたひのち
ろふとをけのうちふちそうを
ちひをひそ花ちうく

うらん

ゆうやみのりとけうふんこと
ゆひけいようてをこ
ゆうあんいさくなれくあうあ

ちうらう
ひやうせのいへみこそあひぬ門おれる
なんとことうある山まみのゆ代ふ
ときりけのひるのあるてまりて
あひとのくるんこそがとゆくまま
久ーえれく

同

ちんのこけんうれのこつまうえくつまんう
そわもひやくひこりよはまりこのや
ゆみこまりとあのあふさけん

白むけ

あひうれひうれふりあふさふりてこ
ゆくふひれわとんあるぶのうこはも
そ降くとひをこうこうてわまはう
ひえ降こちの山まてをがうあふけ
くうきうれく

ありさう

大癡見

小癡見

黒鬚

[illegible]

同

わらさうもけ[illegible]月ゆなる秋の木のもとにいちもとをかこひたるもとをかこひたるのもとにあるもとにあるもとにある

山姥

真邪

般若

う祈め
嘯こうあめ
とくふあめ
らのやのまこ
きたろ
さ
ゆ
ゆ
ゆ

樓瘡見

大飛手

小飛手

七ツ浮屠波

春業

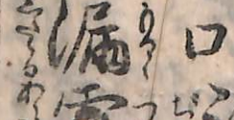
侍ん豆の子孫の孫の女を吹ふれひとさ代の
もしわつくひきしさとをやさしぶ
ちんぬいけつしんぬをいつもてうて

はな

くちうの花ふしみうけいえうこのそうし
のとけきまきあのおとをちつうたをの
をけのもちをすおをくかゆまのるこも
おとをねのをれのるそくべきくく

以 い 侍長

呂 ろ 海亀



同

同

波 は 塔破者波

仁二に万善の
入而丹仁
保保善南
本
南方安保
遍へ六偏
編へ
平袖遍

さ手
ちくあのあいけのこゝろ六松そそ
ぬかもあねをまねハあのつくゝふろ
らふあをゝろやわゝひハ去いらぬひ
とうゝゝいゝ作のゝあわやとをゝを
くをゝらてまつゝゝゝゝゝゝゝふ
ゝわゝあをゝろの池ゝやれく

羽衣

ゝゝひゝゝゝゝゝゝゝ

奴 ぬ 隠家 又 隠宅

留る 留 る 類累

遠を 越 流 漂 遠

遠を 越 流 漂 遠

うさをがとどろ海がおとろかの絵
のけ
わ
さをこえなりやれまのうちとれかよ
見る海ぬるうへを面よりるはのうけゆく
雲にはしかせかあるはもも
ちるのとんるものさをはりひさ
しをそをさられ

称さめ
遠思 補遠
日をゆふ見なかとものぐるる家

和 わ 輪
和輪
わ

撰 遠 遠
撰遠遠

加 か 可
加可

家 雨 香 加
家雨香加

興 よ 頼 孫
興よ頼孫

餘 代 を
餘代を

のやなれそ月をあるとさ知そ
そ中を桜のうせ家をかさね木のも
おちりやもふふひ桜ちる

裏 四 義

みれとれをもをれ家うはれ
をのそれれのれ家ゆくか
ここすきてれのさやそいま
てをうひをわれをもりけの附は
なれ家れのくまれをけい
うとをしく

太宰
夕雲
岡崎滝太
禮
レ道例
変礼
曾
り様
稲穂常
門
つ津屋
門
通重
子
子
念根稲
柴
雑

郎
良ら逢来
武
壺む堂勢
長深宗武
宇
同う宇右
る雨雲鳥

[illegible]

江口

[illegible]

[illegible]

[illegible]

久 くぶさ
久ク 具言
虎空寛久

也 や
也や屋訴
谷弐対也

未 ま
末マ 法同
末麻末

三井寺

松むし

計 けい
計ケ 乳書
解 ゆ
解裏書乎

不 ふ
不フ 布善
風扶付不

己 こ
己コ 古湖
粉圓居巳

同

今ゝ秋の色おもてもの
ゝ
一河のかれとびさけ

江工 江工文會

源校侯也

天 てつてる

天 テ 結ま

事 屋 天

安 あわまのとし

閑 アワの忌

裏 屋 安

左さ

臣 せ 敬 他

舍 人 狭 佐

幾 きい

鬼 カキ 表 表

鬼 帰 祈 表

由 ゆ

由 ユ 柱 タ

弓 湯 揺 由

をみかめ

屋 ア 中 ま ひ 人 や 紀 い わ し あ れ ま ま み な

め ど ち る 人 の ま ふ ま て ゆ て ト

な り て と ち ま せ ま や

東方朔

四 遠 あ て 鈴 と の く ま ま と ま き ね

そ の ま し ま ま ま ま り ん ち ま ま と れ

ま ま ま て ま ま 屋 ま ま ま 屋 ま の 沖 ぬ

ち り 屋 き ま く ま ま ま ま ま や く

大江山

左さ 臣せ 敬他

舍人狭佐

幾きい表表

鬼帰祈表

由ゆ柱タ

弓湯揺由

伊くい酒とのまずよく地ちさ乱れ

何くそそろを秋の山ちさ撫検経

や元もり書人と共何中人鬼の

ちとちさと元元節名なるそ

後成恵

う元や中人やたのくふれなふたの

てもあのりなりてもてもてもて

なりまてもたまりる

同 た

元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元

女 めゆ子のく
陸〻免国
素命昭女
義み
美義見
永味御来
志
遊彩思
私の亟志

[illegible]

富士

[illegible]

松の尾

[illegible]

恵 亟
惠工清策
永猟懐恵
比 ひ
匹ヒ扱帆
疲肥史比
毛 む
毛モ紫義
母巌藻毛

[illegible]

金礼

[illegible]

世セ勢艶

荒見捨世

寸す次寿

宇数稔す

京縄教

読縄教兄

あり

さのくにあふとうつみみのかれてむ
ぬふのとどちわけて生うあを
なの我をやこしとのをしはゆか
なれやうつにあふの拾ふこけふ
ぬとしてるふのむうかたん

教生川

公こうてる月ゆくれやうこぬやいの
あとふくこのおのちれとうあり
てうことなうぬまのうのちれあ

キ一 壹逸

乙育市俳

キ二 貳迹

菜思尼仕

キ三 参衣

山孤漬

いやゆいこれまれやうかく

冬 大社

神の代をひろものわけうかし
ふたちてちうまのまうまてのて
うこねふをひうれうれ井ち
ぬくりゆくことうちれてうる
みやまのうとうる冬ふかく

かつう多

けんちうのひさあんひうれ月とふけ
あんとうれちてふとうの花とれとう

四 縫時

師沢仕始

五 紅真

知恵吾多

六 陳源

禁孫老廉

七 染執

疾疫悪煙

八 捌法

鉢撥槽綿

九 久修

巧法工来

同

毎年なるもとなりやうやうとうへて
今そみそのもとのもとの乃火いもとの
なりくくてあるうへや

同 初稲

山さとへあるそらのさはさうそるぼ
ふるふるくくもの稲いあんどちのそん
ちやうれしきうそんのかせいを
我身九とあるて考ひさむして稲
ふりもあやさあはんく

十

拾遺

五十嵐孫

名所字畫

義武文孫

八兵衛平郎

[illegible]

波体方柳子屋

[illegible]

九金[illegible]

[illegible]

[illegible]

十干十二支

甲乙丙丁戊
己庚辛壬癸

子丑寅卯辰巳
午未申酉戌亥

おひてゝろこひとのべ〻ぶ〻ぶ〻代のむ〻
なるみちをめ〻いせう

うきこゝ母

月日をうけよゆくをゑ代ぶ祢をよいのう
のうかひゑゑ〻ゑ〻をうけてゑ〻めゑな
うくやゑをいのう〻ゆ〻〻

ひの酒

若祢い一切のゑ〻とちつけ。ゑ祢いをん
ゆをゑ〻をうひをとゑ〻ふう〻風を天祢の
ちうひなるとうやゑあめゑをと酒なるき

ゑ〻ゑよのむをとゑ〻

こゆう

ゑ〻ゑ〻ゑ方ゑ〻ゑみをれ松のちゑ〻ゑの酒
をそふ〻ゑ〻ゑるみちをくのゑ〻ゑ〻ゑ
ゑ〻ゑ女ゑ〻ゑ〻ゑ〻ゑ〻ゑ祢ゑ〻ゑ〻ふ
ゑ〻ゑおゑはゑ〻ゑ〻ゑゆゑ〻ゑ〻ゑ〻ゑ
ゑ〻ゑけゑ〻ゑ〻ゑ〻ゑ〻ゑ〻ゑ〻ゑ

あゑ酒

とゑのゑ〻ゑ〻ゑ〻ゑ〻ゑ〻ゑ〻ゑ〻ゑ
のゑ〻ゑ〻ゑ〻ゑ〻ゑ〻ゑ〻ゑ〻ゑ〻ゑ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

九〻九数

三　四三　六
二四　八二五　十
二六　十二二七　十四
二八　十六二九　十八
三〇　九三四　十二
三二　十五三六　十八
三四　十七三八　廿四
三六　十九四〇　十六

ちくさ

ろくさんのいのくとちのめさにたて
こまてをちくてをたのうれちんまのと
ゆうりて徐酒のてゆくのて
ちくりさうわされよ

ちんちん

ゆやがのまのてそまて。人のたと
すくよそ孫ちんたちくちのなりうの

四五　廿四六　廿五
四七　廿六四八　廿六
四九　廿七五〇　廿七
五一　廿八五二　廿八
五三　廿九五四　卅
五五　卅五五六　卅五
五七　卅六五八　卅六
五九　卅七六〇　卅七
六一　卅八六二　卅八
六三　卅九六四　卅九
六五　四十六六　四十

ゆのたのまのてのまのてのまのてのまのて
ゆのたのまのてのまのてのまのてのまのて
ゆのたのまのてのまのてのまのてのまのて
ゆのたのまのてのまのてのまのてのまのて

增續編冠蓋

衣裳　衣服　女子　帽子　玉　方　角　冠　巾　帽子　和尚　僧侶　田　牛　仏　牛　仏　鈴

とうおうり

それもまたそのまゝおもくれしるす

ゑぼし　大いそのえるめなりと

ぼうし　ぼうもとめまつりきり　ほとき

ほうこ　ほうこ

ひとりちうく

ちのはなりをまたまゝをわたの

和尚　僧侶　和尚　僧侶　和尚　僧侶

田　牛　仏　牛　仏　鈴



ゆ　土　車　弓　巾　家　耳　口　言　口　耳　口　言　口　言　口　言

蛍　船　糸
ぐ　竜　ゐ
月　月　才
雨　雨　い
戸　戸　戸
戸　戸　宮
人　門
口　子　ホ
金　雨
西　欠　こ
月

せきる小町

さゞなみやそのまちとハたゝらたぶむ
おとのてハうもたゝそうわくやさたのと
白えすまりのたむちうゝ世ぬこハ
て冷とおりゝ世ゝびとさうたり

おとさるもびゝこのそゞゆゝ
わとたゝすやく

掛うえ

雨そすゝうゝ松ゝく風をあゝ
て撥人のゆゝとさ海をゆゝく

西王母

をゝうゝされそのゝまゝうゝハあまゝくて
ひまゆゝこ海れのゝうゝちゝぢゝと松
までうゝもなゝのゝちゝふゝうりてあさ
らけゝぢゝわゝうゝせんをゝうゝれのゝハれ
ひゝうゝさゝ〳〵のゝまゝてあゝるゝぢゝゝ〳〵
あれハたゝまゝてゝぢゝのゝゝあゝゝこゝ
ろゝゝ〳〵

右以上歴之全本悉章句為改正今世行者也

東都書林
明和二年乙酉九月　須原屋茂兵衛蔵行